



SOMPO
ホールディングス

保険の先へ、挑む。

SDGsブックレット2018



SOMPOホールディングス株式会社

価値創造プロセス

当社グループはデジタル技術の活用や新たな事業・サービスの展開によって、既存のビジネスモデルやグループ全体の事業ポートフォリオの変革を進めます。「安心・安全・健康のテーマパーク」へのトランスフォーメーションを通じて新たな価値を創造することで、レジリエントでサステナブルな社会の実現を目指します。

国内損保
事業

価値創造イノベーション
～最もお客さまに支持される
損害保険会社へ～

介護・ヘルスケア
事業

「世界に誇れる豊かな
長寿国日本」の実現に
貢献

Contents

【SOMPO認知症サポートプログラム】 3～6

重点課題 1 防災・減災への取組み

黄色いワッペン贈呈事業	9
ドラえもん交通安全キャンペーン	9
「交通安全プロジェクト」inインドネシア	9
防災ジャパンダプロジェクト	10
いち早い解決に導く、ドローンを用いた最新技術	10
コールセンターなどにおけるAIの活用	10
「ALSOK事故現場安心サポート」の提供	11
ウェアラブル端末(スマートグラス)を活用した損害調査、 ドローンを活用した建物診断サービス	11

『ポータブルスマイリングロード』	12
『DRIVING!～クルマのある暮らし～』	12
防災・減災費用保険	12

重点課題 2 健康・福祉への貢献

損保ジャパン日本興亜スマイルキッズ江戸川橋保育園	13
「SOMPO パラリンアートカップ」の支援	13
健康サービスブランド リンククロス	14
フルラインナップの介護サービス	15
SOMPOケア ユニバーシティ(東京・大阪)	15
リンククロス 笑顔をまもる認知症保険	15
認知症サポーターの養成	16
「母子保健プロジェクト」inミャンマー	16

会社名 SOMPOホールディングス株式会社
(英文表記: Sompo Holdings, Inc.)
本店所在地 〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1
TEL 03-3349-3000(代表)
設立 2010年4月1日
資本金 1,000億円

代表者 グループCEO代表取締役社長 櫻田 謙悟
事業内容 損害保険会社、生命保険会社その他の保険業法の
規定により子会社等とした会社の経営管理および
これに附帯する業務
上場証券取引所 東京証券取引所(市場第一部)
URL <http://www.sompo-hd.com/>

※2018年3月31日現在

「健康応援企業」への
変革

国内生保
事業

サステナブルな
社会と
グループの
成長の実現

安心・安全・健康の
テーマパークの実現

海外保険
事業

30か国・地域、218都市に展開
真に統合された海外保険事業プラットフォーム
の構築

**重点
課題 3 地球環境問題への対応**

SAVE JAPANプロジェクト……………17
天候インデックス保険……………17
市民のための環境公開講座……………18
CSOラーニング制度……………19
損保ジャパン日本興亜の森林……………19
エコファンド『損保ジャパン・
グリーン・オープン』……………20

**重点
課題 4 よりよいコミュニティ・社会づくり**

「SOMPO Digital Lab」の設置……………21
SOMPOホールディングス ボランティアデー……………21
Community Enhancement Day……………21
復興支援マルシェ……………22
自治体との環境・SDGsに関する連携……………22
車いす整備・清掃活動……………23
東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館……………23
「SOMPO アート・ファンド」
～創造性にあふれる未来の社会づくりへの貢献～……………24
損保ジャパン日本興亜人形劇場「ひまわりホール」……………24
Diversity on the Arts Project(愛称:DOOR)……………24

**重点
課題 5 ダイバーシティの推進・啓発**

女性活躍推進……………25
LGBT支援……………26
障がい者の雇用促進に向けた新会社
「SOMPOチャレンジド株式会社」の設立……………26
社員の健康維持・増進の取組み……………27
「SOMPO Global University」の開校……………28
社会福祉に資する活動支援……………28
CSRの考え方……………29
社外からの主な評価……………30

編集方針

「SDGsブックレット」は、当社グループのCSRの取組みの一部を簡潔に紹介するブックレットです。取組みの詳細は、統合レポート、CSRコミュニケーションレポート、当社公式ホームページなどをご覧ください。

重要・概略

詳細・網羅的

財務情報

非財務情報

統合レポート2018

CSRコミュニケーション
レポート2018

ブックレット2018

有価証券報告書

ホームページ

2018年、SOMPOの新

SOMPO認知症サポートプログラム始動

SOMPOホールディングスは、
「お客さまの安心・安全・健康に資するサービスをご提供し、社会に貢献する」
という経営理念の実現に向け、認知症に関する社会的課題に注目し、
「認知症にならない・なってもその人らしく生きられる社会」を目指す
「SOMPO認知症サポートプログラム」を開始します。

「認知症にならない・なってもその人らしく 生きられる社会」とは

認知症の発症や進行を遅らせるために重要な「MCI(軽度認知障害)の早期発見」と、
「認知機能低下を予防する取組み」が進んだ社会

認知症に対する正しい知識やケアの技術の向上により、ご家族や介護者の
介護負担が軽減され、認知症になっても自分らしく安心して暮らせる社会

認知症当事者の方とそのご家族、現場で働く介護スタッフからの声や、
包括連携協定先である「国立研究開発法人国立長寿医療研究センター」からの
アドバイス等、さまざまな立場の方からのご意見を活かして、
「SOMPO認知症サポートプログラム」を展開してまいります。

SOMPO認知症サポートプログラムの 4つの取組み

1

商品・サービスの
開発および提供

2

エコシステムの
構築

3

各種研究

4

啓発・
支援活動

たな挑戦が始まります

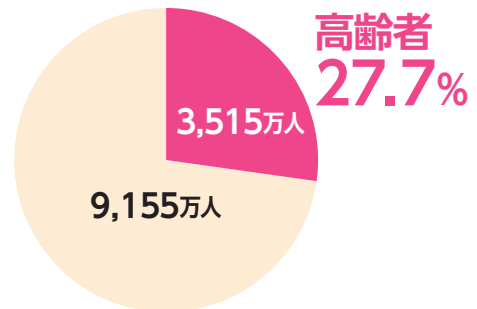
当社グループが認知症に取り組む理由

超高齢社会が進行し 高齢者人口は年々増加、 認知症高齢者数も増加

2010年、日本は、65歳以上の人口の割合が総人口の約21%を占める『超高齢社会』に突入しました。さらに、認知症になる方の割合も年々増加しており、2012年に推定462万人と65歳以上の約7人に1人の割合が、2025年には約5人に1人、2060年には約3人に1人となると予測されています。

出典：内閣府「高齢社会白書」（平成30年）を基に作成

総人口に占める
高齢者（65歳以上）の割合（2017年）

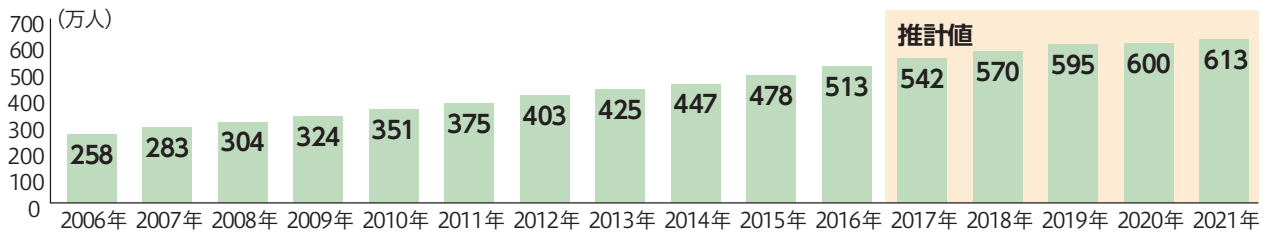


（総人口＝1億2,671万人）

高齢者の自動車事故

高齢ドライバーが増加する中、逆走やアクセルとブレーキの踏み間違い等による事故がクローズアップされています。臨時の認知機能検査が新設された平成29年3月の改正道路交通法施行後の1年間で、認知機能検査を受けた75歳以上の高齢者210万人のうち、5万7千人が「認知症のおそれ」と判定されるなど、高齢者の自動車事故と認知症の関連性が注目されています。

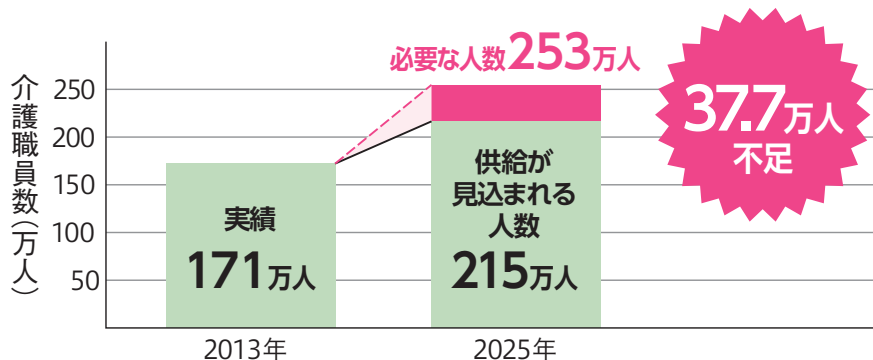
75歳以上の運転免許保有者数



出典：内閣府「交通安全白書」（平成29年）を基に作成

労働人口の減少も進むことで 介護人材の供給不足も問題に

認知症も含めた介護に対するニーズが年々高まる一方、労働人口の減少によって介護を支える人材が不足し、介護人材の需要と供給のギャップという課題も認識されてきました。家族の介護のために会社をやめる介護離職も課題となっています。

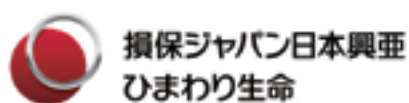


出典：厚生労働省「2025年に向けた介護人材にかかる需給推計（確定値）」（平成27年）を基に作成

「SOMPO認知症サポートプロ

プログラム概要

認知症をテーマに、グループ各社が新しい商品・サービスを提供していきます。損保ジャパン日本興亜は介護離職を防止する「親子のちから」を、損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は、認知症だけでなく、MCIと診断された場合にも一時金を受け取れる「リンククロス 笑顔をまもる認知症保険」を2018年10月に発売。それらの共通の付帯サービスとして、認知機能低下予防から認知症介護までの支援サービスを紹介する「認知症サポートSOMPO笑顔倶楽部」をプライムアシスタンスが提供します。また、SOMPOケアは介護分野での認知症対応を強化していきます。



リンククロス 笑顔をまもる認知症保険



認知症だけでなく、
MCIと診断された
場合にも一時金！



介護付き
ホーム

サービス付き
高齢者向け
住宅

住宅サービス
(訪問介護など)

デイサービス

豊富なラインナップで、
介護を総合サポート！



親子のちから



介護離職を防止する
団体向け商品！



認知機能低下の
予防から、認知症ケア
までをサポートする
Webサービス



SOMPOホールディングスでは、グループ職員の認知症サポーター養成に取り組んでおり、2018年8月末時点では8,920人です。グループとして認知症に関するリテラシーを上げるため、今後も推進していきます。

GRAM」とは

商品・サービスのポイント

リンククロス 笑顔をまもる認知症保険

限定告知認知症一時金特約付
払込期間中無解約返戻金限定告知骨折治療保険

“なる前”からのサポートも、 “なった後”の保障も

認知症だけでなく、MCIと診断された場合にも一時金を受け取れる保険商品です。

保険に、健康を応援する
機能を組み合わせた、
Insurhealth®商品だよ!



※保険(Insurance) + 健康(Healthcare)



SOMPOケア

認知症ケア

認知症が発生してもその方らしく暮らし続けられるよう、ご利用者さまの想いを聞き、健康状態や生活環境などの観察をもとにケアを行います。お薬の見直しやお身体の苦痛緩和、栄養状態の改善に向け医療と連携したり、睡眠・排泄・活動などの状況把握にデジタル技術を活用するなど、個別性の高いケアを目指します。



親子のちから

働く世代の介護離職に ストップ!

親を介護しながら働く子の介護費用を補償し、介護離職を防止する団体向けの保険商品です。



SOMPO笑顔倶楽部

国内初! 認知症に関するトータルサポート!

認知機能チェックや認知機能低下の予防に資するサービス、認知症の基礎知識や介護に関する情報を提供するWebサービスです。



- ◆「親子のちから」や「リンククロス 笑顔をまもる認知症保険」のご契約者さま向けサービス。
- ◆一部の情報はどなたでも閲覧可能です。

SDGs達成に向け

社会的課題

2015年9月、国連サミットにおいて2030年までの「持続可能な開発のための目標(Sustainable Development Goals;SDGs)」が採択されました。

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標

交通事故



少子高齢化

環境問題

格差拡大

人権問題


当社グループは、SDGsなどの国際動向を踏まえ、経営理念である「安心・安全・健康」に資する最高品質のサービスを提供し、社会に貢献するため、5つの重点課題を特定し、取り組んでいます。



当社はSDGsの達成に向けて取り組んでいます。当社のSDGs達成に向けた取組みは、SDGsへの貢献にコミットする日本国内の企業として、外務省のHPにも掲載されています。

た5つの重点課題

サステナブルな社会の実現



重点課題 1
防災・減災への
取組み

3 災害時に
健康と福祉を
11 安全確保が
求められる
13 気候変動に
関係する
17 パートナシップで
目標を達成しよう

▶ P9



重点課題 2
健康・福祉への
貢献

1 健康を
なくそう
3 すべての人に
健康と福祉を
17 パートナシップで
目標を達成しよう

▶ P13



重点課題 3
地球環境
問題への対応

7 エネルギーを
安全に
13 気候変動に
関係する
15 海の豊かさ
を増やす
17 パートナシップで
目標を達成しよう

▶ P17



重点課題 4
よりよいコミュニティ・
社会づくり

4 質の高い教育を
みんなに
9 産業と技術革新の
基盤をつくろう
12 つくる責任
つかう責任
16 平和と公正を
すべての人に
17 パートナシップで
目標を達成しよう

▶ P21



重点課題 5
ダイバーシティの
推進・啓発

5 ジェンダー平等を
実現しよう
8 働きがいも
経済成長も
10 人や国の不平等
をなくそう
17 パートナシップで
目標を達成しよう

▶ P25

大切な人を想うと、防災を学びたくなる

防災ジャパンダプロジェクト

全国延べ
151回開催
(2017年度末)

参加人数
24,000
人以上
(2017年度末)

損保ジャパン日本興亜は、将来を担う子どもたちとその保護者を対象に、災害から身を守るための知識や安全な行動を学んでもらうことを目的として、「防災人形劇」および「体験型防災ワークショップ」を実施しています。



紹介動画はこちら!

お客さまのご期待を上回るサービスの提供

いち早い解決に導く、ドローンを用いた最新技術

保険業界
初



損保ジャパン日本興亜は、大規模自然災害発生時に保険金の迅速なお支払いにつなげるため、保険業界で初めて、国土交通省から日本全国でのドローンの飛行に関する包括許可を取得しました。2016年に新潟県糸魚川市で発生した大規模火災や2017年に発生した九州北部豪雨時に、被災された皆さまの早期の生活再建を願い、ドローンを活用した損害調査を実施しました。



お客さまをお待たせしないために

コールセンターなどにおけるAIの活用

損保ジャパン日本興亜では、コールセンターへのお客さまからの問い合わせに対し、AI(人工知能)や音声認識などの新技術を活用しています。導入前と比較して、電話の保留時間が1割削減されるなど、お客さまへの迅速な回答につなげています。また、営業部門からの問い合わせ時にもAIを活用しており、「お客さまへの対応品質の向上」と「業務の効率化」を同時に実現しています。



通販型
自動車保険
業界初※



「ALSOK事故現場 安心サポート」の提供

セゾン自動車火災の『おとなの自動車保険』をご契約のお客さまが事故に遭われた場合、全国約2,400の拠点からALSOK隊員が現場にかけつけ、事故状況などを確認し、保険会社へ連絡することで、迅速かつスムーズな事故対応のサポートを実現します。

※ALSOK隊員がモバイル端末を活用して事故情報を連携するサービスにおいて



紹介動画はこちら!

押すとつながる、「つながるボタン」



万が一の事故の際、「つながるボタン」を押すと、「つながるアプリ」が起動して、すぐに事故受付担当者に相談ができたり、事故現場にALSOK隊員のかけつけを要請することができます。また、「つながるアプリ」から、お客さまのご契約情報や事故現場の位置情報が連携されるため、必要なサポートをスムーズに受けることができます。



紹介動画はこちら!

より早い保険金のお支払いと修繕工事を実現

ウェアラブル端末(スマートグラス)を活用した損害調査、ドローンを活用した建物診断サービス

損保ジャパン日本興亜では、火災保険の対象となる事故で、お客さまから修理業者の紹介依頼があった場合などに、グループ会社であるフレッシュハウスをご紹介しています。フレッシュハウスでは現地で損害の確認を行う際に、ウェアラブル端末を活用し、専任オペレーターが遠隔サポートを行います。またドローンを活用した建物診断サービスにより、地上からは確認しにくい屋根等について、短時間かつ高精度な建物診断を実現しています。こうした取り組みにより、修繕工事および保険金にお支払いにかかる期間の短縮につなげていきます。



現場調査

映像共有



指示



オペレーター

業界初
の
機能搭載

あなたのカーライフを変えるカーナビアプリ

『ポータブルスマイリングロード』

『ポータブルスマイリングロード』は、「万一の事故時にワンプッシュで代理店や保険会社に連絡する『安心』の機能」、「運転診断やリアルタイム情報提供など事故防止に役立つ『安全』な機能」とともに提供する個人向けテレマティクスサービスです。保険会社ならではの「事故多発地点アラート」や、事故多発地点を回避する「安全ルート案内」などの保険業界初の機能を搭載し、「快適」なドライブを実現します。また、2018年1月には、主に初めて自動車を購入される方を対象に本アプリの運転診断結果と連動し、自動車保険の保険料が最大20%割引となる『安全運転割引』を国内の損害保険会社では初めて開発しました。



紹介動画はこちら!



ドライブレコーダーを活用した個人向け安全運転支援サービス



紹介動画はこちら!

『DRIVING!〜クルマのある暮らし〜』



損保ジャパン日本興亜の『DRIVING!〜クルマのある暮らし〜』(以下、『ドライビング!』)は、運転歴の浅い方や運転に不安を覚える方、高齢者やそのご家族に安心を提供する、ドライブレコーダーを活用した個人向けテレマティクスサービスです。「安全運転支援機能」を搭載した通信機能付き専用ドライブレコーダーにより運転中の安心をご提供し、運転後は「安全運転診断」や「視機能トレーニング」等により運転技術のセルフメンテナンスをサポートします。また、万が一の事故の際も、ドライブレコーダーの衝撃検知を活用した「事故時通報機能」や国内大手損保で初めてとなるA L S O Kと連携した「事故現場駆けつけサービス」をご提供し、安心・安全なカーライフをトータルサポートします。

※『ドライビング!』は「ドライブレコーダーによる事故発生時の通知等に関する特約」を付帯された方に提供されるサービスです。

VOICE



「事故のない社会」の実現に向けて

運転に不安があっても、仕事や生活上の理由で車が手放せない方も多いと思います。いつまでも安全な運転を続けていただくために、運転中から運転後、もしもの時まで保険会社にしかできない手厚いサポートを提供し、「事故のない社会」実現の一助になりたいという想いから開発に至りました。

損保ジャパン日本興亜 リテール商品業務部 上月 涼平

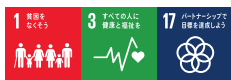
防災・減災費用保険

豪雨や台風による水害が相次ぐなか、損保ジャパン日本興亜では2017年4月より、自治体向けに自然災害時の避難にかかる費用を補償する保険を発売しました。避難所の設置や生活必需品の確保、物品の輸送費にかかる費用、自治体職員の超過勤務手当の費用等を保険金としてお支払いします。すでに全国の100以上の自治体が加入しています。



株式会社ウェザーニューズ提供

2 健康・福祉への 貢献



「育とうとする力」をはぐくむ認可保育園

損保ジャパン日本興亜 スマイルキッズ江戸川橋保育園

2011年設立の(一財)損保ジャパン日本興亜スマイルキッズは、東京都文京区の認可保育園「損保ジャパン日本興亜スマイルキッズ江戸川橋保育園」を運営しています。子どもの「育とうとする力」に寄り添って支援していくことで、保護者や地域の皆さまに喜ばれる保育園を目指しています。また保育士の労働環境の向上にも注力しており、ワークライフバランスの実現に向け優れた取り組みをしている事業者として、「平成29年度東京ライフ・ワーク・バランス認定企業・知事特別賞」を受賞しました。



障がい者がアートで夢を叶える世界をつくる

「SOMPO パラリンアートカップ」の支援



損保ジャパン日本興亜は、トップスポンサーとして、(一社)障がい者自立推進機構が主催する「パラリンアートのコンテスト」に参画しています。パラリンアート(障がい者が作成する美術作品)が国内外に広く周知されることを目的としており、2017年度は、(一社)日本プロサッカー選手会・(一社)日本バスケットボール選手会などの協力のもと、サッカー・バスケットボールをテーマとしたアート作品を募集し、758点の応募作品の中から60作品が入賞しました。同社は、参画企業として設けた「損保ジャパン日本興亜賞」の贈呈式を全国各地で実施するとともに、受賞作品の展示会を新宿本社ビルで開催しました。



紹介動画は
こちら!





損保ジャパン日本興亜ひまわり生命
健康サービスブランド

Linkxx
リンククロス

こちらのアプリは、ご契約者さま
以外でも無料で利用が可能です。

健康情報アプリ

Linkxx siru
リンククロス

「リンククロス シル」は、最新の分析技術でお客さまが読む記事の傾向を学習し、健康を軸とした最適な記事を配信する健康情報アプリです。利用状況に応じて最適な記事が配信され、一人ひとりに合った運動・食事・生活習慣などに関する情報をお届けしています。

アプリの
ダウンロードはこちら!



ios版



Android版



健康促進のためのお散歩アプリ

Linkxx aruku
リンククロス



「毎日」「無理なく」「楽しく」「歩く」ことを目的としたお散歩アプリです。散歩中の発見を写真やコメントで共有したり、全国1000コース以上(2018年3月末時点)のおすすめ散歩コースから選んで歩くことができます。また、端末を持ち歩くだけで、歩数や消費カロリー、距離を記録できます。継続的な歩行を促すことで、健康促進を図るアプリです。

アプリのダウンロードはこちら! ▶



ios版



Android版

ダイエットアプリ

Linkxx reco
リンククロス

「リンククロス レコ」は、体型改善を目的として、ウォーキングや食事内容を記録(recording)し、毎日簡単なタスクを実行することで、健康的な生活習慣への行動変容を促すアプリです。自身の生活習慣改善のためにはもちろんのこと、ペアリング機能を備えているため、二人だけの専用トーク機能でお互いのタスク状況が確認でき、パートナーや友人など二人で一緒に取り組みながら、無理なく続けることができます。また、人間の生態リズムの視点で食事の時間を考える「時間栄養学」の観点から、利用者に最適な食事タイミングのアドバイスを提供します。

アプリのダウンロードは
こちら!



ios版



Android版

超高齢社会を支える

フルラインナップの介護サービス



当社グループは、皆さまに「安心・安全・健康」をお届けするために保険にとどまらない幅広い事業を展開しています。2015年度には、「世界に誇れる豊かな長寿国日本」の実現を目指し、介護事業に本格参入しました。そして2018年7月にはグループ内介護事業会社4社が合併、「SOMPOケア」として新たにスタートを切り、地域のお客さまに、在宅サービスから施設系サービスまでフルラインで最高品質の介護サービスを提供しています。

より質の高い介護を目指して

SOMPOケア ユニバーシティ(東京・大阪)

人材開発戦略を率先する機関として、2017年7月に企業内大学「SOMPOケア ユニバーシティ」を開設しました。研修センターは、実際のホームと同様の居室・設備を再現した業界初の研修施設です。介護技術の向上を目指し、多くの従業員が活用しています。将来的には、介護事業を支えるさまざまな方々との学びの場となり、現場の課題・対策の研究機能も有する、総合研究開発センターとなることを目指しています。



研修の様子



リンククロス 笑顔をももる認知症保険

当社グループは、「認知症にならない・なってもその人らしく生きられる社会」を目指すSOMPO認知症サポートプログラムを始動しています。損保ジャパン日本興亜ひまわり生命は、業界初となるMCI(軽度認知障害)を保障する健康応援型商品として「リンククロス笑顔をももる認知症保険」を提供します。付帯サービスとして認知機能低下・MCIの早期発見に貢献し、認知機能低下の予防に資するサービス等を紹介する認知症サポート「SOMPO笑顔倶楽部」を提供します。



VOICE

「認知症にならない・なってもその人らしく生きられる社会」に向けて



「SOMPO笑顔倶楽部」のご提供を通じて、「MCIの段階で早期に発見し、対策をとることで認知症になる可能性を減らせる」ことを一人でも多くの方に知っていただき、行動していただきたいとの思いを持ち、グループ横断で開発しました。介護事業を持つグループとして、認知症になっても自分らしく生きられることや、そのためのヒントもお伝えしていきます。

SOMPOホールディングス株式会社
シニアマーケット事業部

木全 智子

認知症の方や家族を温かく見守り、支援する応援者

認知症サポーターの養成



当社グループは、認知症について正しい知識を持ち、認知症の方や家族を温かく見守り、支援する認知症サポーターの養成を進めています。認知症サポーターを養成する講師役となる「キャラバン・メイト」の養成研修を開講し、各職場において認知症サポーター養成を効率的に行い、ご高齢の方や認知症の方へ配慮した対応ができるグループとなれるよう取り組んでいます。

※当社グループの役職員および損保ジャパン日本興亜の保険代理店従業員の認知症サポーターおよびキャラバン・メイトの合計人数は、2018年8月末時点で10,952名です。(グループ内役職員8,920名、代理店従事者数2,032名)



「母子保健プロジェクト」inミャンマー



©Save the Children Myanmar

地域貢献プロジェクト

損保ジャパン日本興亜は、子ども支援専門の国際組織である(公社)セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンと協働で、近隣の東南アジアの国々と比較して5歳未満児の死亡率や妊産婦の死亡率が高いミャンマーの農村地域において、母子が安心・健康に暮らせる社会の実現に向け、母子保健の改善プログラムの支援をしています。

3 地球環境 問題への対応



地域貢献プロジェクト

イベント開催
約**740**回
(2017年度末)

参加人数
約**37,400**
人以上
(2017年度末)

紹介動画は
こちら!



生物多様性 保全活動

SAVE JAPAN プロジェクト

損保ジャパン日本興亜は、地域の環境団体やNPO支援センター、日本NPOセンターと協働し、毎年全国で市民参加型の生物多様性保全活動を行う「SAVE JAPAN プロジェクト」を展開しています。



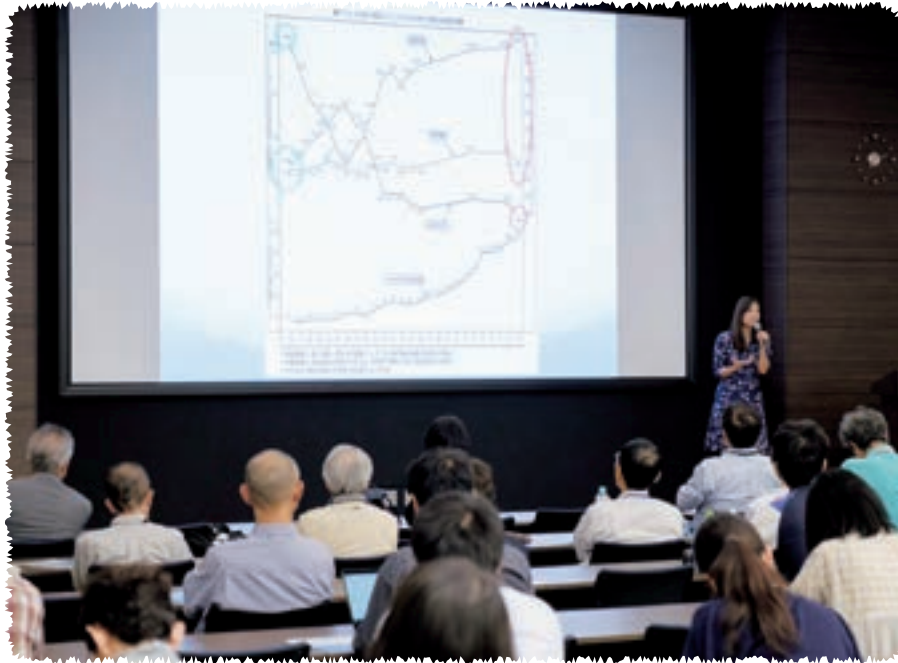
天候不順に伴う被害を 軽減する保険の提供

天候インデックス保険

当社グループは、気候変動の影響を受けやすい農業が主な産業である東南アジアで、天候不順に伴う農業経営リスクの軽減を目的とした保険商品を展開しています。

学生そして社会人の学びの場

市民のための環境公開講座



参加人数
延べ
20,376人
(2017年度末)



参加方法など
詳細は
環境財団のHPへ!



損保ジャパン日本興亜、(公財)損保ジャパン日本興亜環境財団および(公社)日本環境教育フォーラムの3者共催で、NPO/NGOと企業のパートナーシップ協働事業の先駆けとして、1993年から一般市民向けに環境に関する講座を開講しています。



2017年度の講座より

2017年度は、年間を通じて9回の講座と2回の特別講座(ワークショップ)を開催しました。

7/4 [火]

国がなくなる?!

～地球温暖化・気候変動最前線から・キリバス共和国～

沈みつつある島国キリバスと日本の架け橋
ケンタロ・オノ氏 キリバス共和国名誉領事・大使顧問



9/5 [火]

エシカルな選択が未来を変える

～私たちの役割～

丁寧に暮らす、丁寧に生きる選択を伝える
末吉 里花氏 一般社団法人エシカル協会代表理事、フリーアナウンサー



11/14 [火]

地震・噴火頻発期の日本列島

～その後の変化と課題～

異色の科学者
鎌田 浩毅氏 京都大学教授(地球科学者)



木を植える人を育てたい

CSOラーニング制度

(公財)損保ジャパン日本興亜環境財団では、大学生・大学院生を対象に、環境分野のCSO(Civil Society Organization:市民社会組織、NPO/NGOを包含する概念)で8か月間のインターンシップを体験できる「CSOラーニング制度」を実施しています。本制度は2000年に始まり、環境CSOとともに、サステナブルな社会に貢献できる人づくりを目指しています。

1,014人
修了
(2017年度末)



自治体との協定による森林整備活動

損保ジャパン 日本興亜の森林

各自治体と協定を締結している「損保ジャパン日本興亜の森林」が国内に6か所あり、地域の方々、社員、代理店、その家族とともに森林整備活動や環境教育を実施しています。



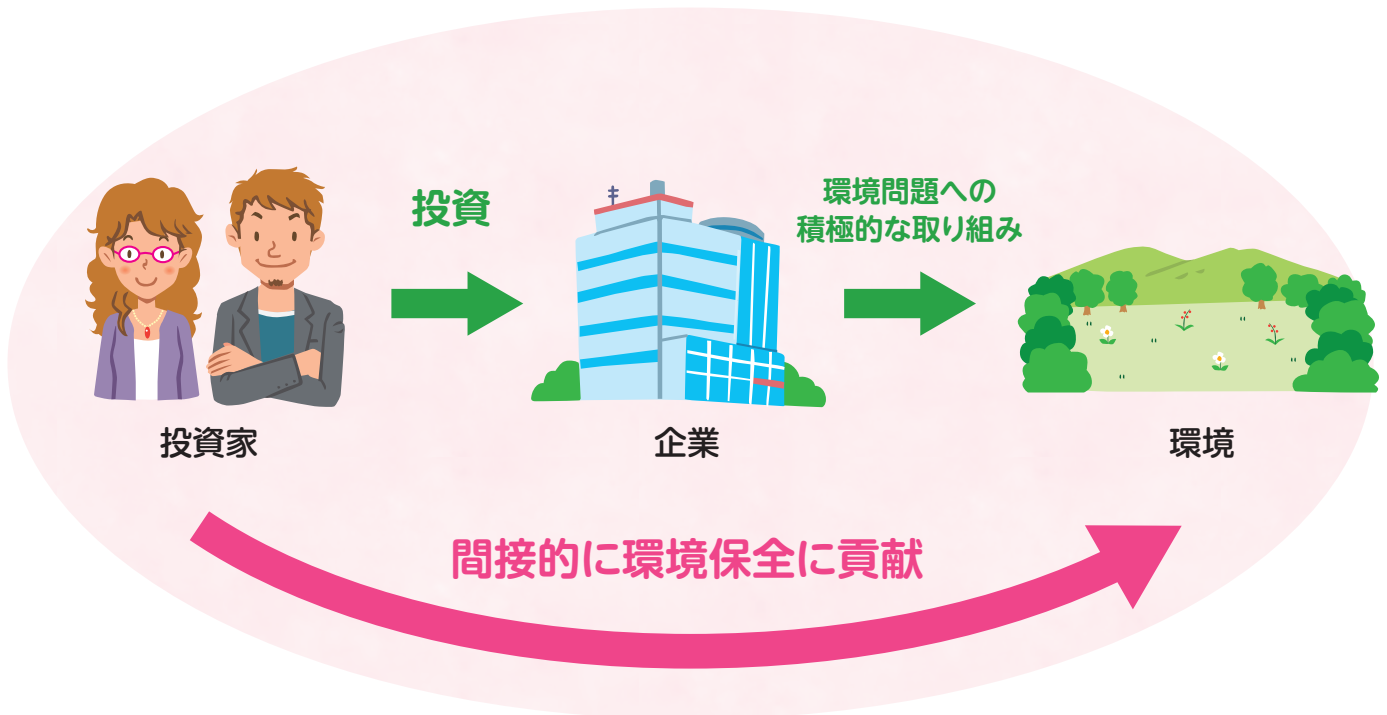
環境保全に貢献する
投資信託

2018年
4月末時点
純資産残高
約**273**億円

国内の
SRI公募投信で
最大級
の投資信託

エコファンド 『損保ジャパン・グリーン・オープン』

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメントは、環境問題に積極的に取り組む企業に投資を行う投資信託『損保ジャパン・グリーン・オープン（愛称：ぶなの森）』の運用を1999年に開始しました。本投資信託を購入することで投資家の資金が間接的に環境保全に貢献することが期待されます。また、『ぶなの森』では、投資家への環境情報の発信や、投資対象企業への環境経営度調査のフィードバックを通じて、環境コミュニケーションの充実を図っています。



VOICE



エコファンド『損保ジャパン・グリーン・オープン』

当ファンドは、環境保全意識が高く、環境対策等に積極的に取り組む企業の株式に投資するエコファンドです。環境情報の発信や対話を通じて、環境保全の要素を考慮した企業価値判断を推進し、持続可能な社会の実現を目指しています。

損保ジャパン日本興亜アセットマネジメント
株式運用部

菅原 繁男
(ファンドマネージャー)

4 よりよいコミュニティ・社会づくり

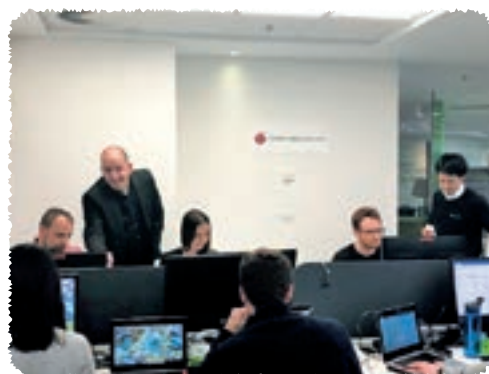


「SOMPO Digital Lab」の設置



当社は、世界の先端テクノロジーが集うシリコンバレー、東京に加え、2017年にイスラエルに「SOMPO Digital Lab」を設置しました。

お客さま視点で最適なサービスをご提供していくために、今後、最先端の技術やノウハウを保有する国内外の企業との提携を拡大していきます。



SOMPOホールディングス ボランティアデー

2011年度からグループ役職員がボランティア活動に取り組む「SOMPO ホールディングス ボランティアデー」を毎年開催しています。認知症サポーター養成講座・地域の清掃・フェアトレード商品販売・寄付など、さまざまなボランティア活動を地域の皆さまと一っしょに実施しています。



Community Enhancement Day

海外拠点のSOMPOインターナショナルは、2011年に創業10周年を記念して実施したことをきっかけに、毎年Community Enhancement Dayを実施しています。社員は各地域の慈善団体等と連携したプロジェクトに参加し、社会への貢献に努めるとともに、地域社会との関係構築を目指しています。2017年度は350人以上の社員が参加し、フードバンクや環境機関、社会福祉施設などさまざまな地域機関で活動しました。





復興支援マルシェ

当社グループは東日本大震災からの復興を祈念して、復興マルシェを継続的に開催しています。2018年3月には本社を含め8地区で開催し、福島県のほか、災害により大きな被害を受けた熊本県・福岡県・大分県・秋田県の特産品を販売しました。震災の記憶を風化させないよう、一人ひとりが身近に貢献できる機会をつくることで、当社は今後も復興支援を続けていきます。



自治体との環境・SDGsに関する連携

損保ジャパン日本興亜は、地方自治体とのSDGsに関する連携を進めています。2018年2月に北九州市と「環境・SDGsに関する連携協定」を締結しました。再生可能エネルギー等の導入拡大や気候変動に伴う適応策の推進、SDGsの普及啓発などの活動において連携し、北九州市、日本およびアジア地域の持続可能な社会づくりに貢献していきます。

VOICE



持続可能な社会づくりに貢献

当社は、北九州市の市民の方や市全体のSDGsの浸透・推進に貢献するため、洋上風力発電に関するリスクマネジメントや保険引受のノウハウ、再生可能エネルギーや気候変動に関する知見など、保険会社としての強みを最大限に活用していきます。

北九州支店 法人支社

岡村 瞳、川田 健作



車いす整備・清掃活動

当社グループは、社員が自主的に社会貢献活動に参画できるよう、役職員によるボランティア組織「SOMPOちきゅう倶楽部」を中心に、全国各地で代理店などと協働したボランティア活動を継続しています。自動車整備技術を有している代理店などでは、専門スキルを活かした「車いす整備・清掃活動」を実施しています。



アジアで唯一ゴッホの《ひまわり》を鑑賞できる

東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館

東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館は1976年に新宿本社ビル42階に開館し、ゴッホの《ひまわり》をはじめ、ゴーギャン、セザンヌ、東郷青児、グランマ・モーゼスの作品などを常設展示しているほか、各種展覧会の開催や新進作家の支援をしています。1987年からはアジアで唯一ゴッホの《ひまわり》を見ることができるとして親しまれ、2018年3月までに累計約576万人もの方にご来館いただきました。中学生以下の入館を無料にするとともに、新宿区と連携し、区立の小中学生を対象に「対話による美術鑑賞教育」支援を実施するなど、次世代育成にも力を入れています。

《ひまわり》1888年 フィンセント・ファン・ゴッホ
東郷青児記念 損保ジャパン日本興亜美術館



2020年春には、本社ビル敷地内に新たな美術館としてオープンします。

展覧会のご案内はこちら!





写真:「熊本城×特撮美術 天守再現プロジェクト」/
製作関係者と市民インターン

「SOMPO アート・ファンド」 ～創造性にあふれる未来の 社会づくりへの貢献～

損保ジャパン日本興亜は、2016年度に全国のアートプログラムを支援する「SOMPO アート・ファンド」を設立し、各地の個性豊かなアートプロジェクトや国際的なアートフェスティバルなどへの助成を通じて、地域活性化への貢献などを目指しています。

※本ファンドは、(公社)企業メセナ協議会が運営する「2021芸術・文化による社会創造ファンド(略称:2021 Arts Fund)」の仕組みを活用したものです。

損保ジャパン日本興亜人形劇場「ひまわりホール」

損保ジャパン日本興亜は1989年に開設した名古屋ビルの人形劇場「ひまわりホール」を地元の人形劇関係者を中心として設立されたNPO法人愛知人形劇センターと共同で運営しています。

人形劇の上演、セミナー、ワークショップ、子どもアートフェスティバルの開催、P新人賞(人形劇の明日を担う斬新な才能を発掘するコンテスト)など、人形劇の盛んな地域で全国的に注目される多彩な活動を展開しています。



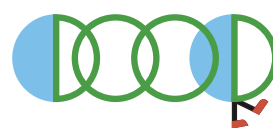
愛知人形劇センター・ひまわりホール30周年プレ制作
『小町曼荼羅』より

東京藝術大学×SOMPOホールディングス

Diversity on the Arts Project(愛称:DOOR)



当社は、2017年度から東京藝術大学が開校した「アート×福祉」を体系的かつユニークな講義と、街中の拠点など社会での実践を通じて学ぶ履修証明プログラム(DOOR)を支援しています。人材育成を通じた、多様性ある共生社会づくりへの貢献を目指しています。



**Diversity on the
Arts Project**

紹介動画は
こちら!



5 ダイバーシティの 推進・啓発



女性活躍推進

女性
管理職比率
30%目標
(2020年度末)



女性が輝く 先進企業 2016

平成28年度内閣府
「女性が輝く先進企業表彰」で
「内閣総理大臣表彰」を受賞
(損保ジャパン日本興亜)



経済産業省および
東京証券取引所が共同企画で実施する
平成29年度「なでしこ銘柄」に選出

当社グループは、女性のキャリアアップを支援する研修として、「女性経営塾」や「みらい塾28」などさまざまな女性専用育成プログラムを実施しています。また、直属の上司以外の者がアドバイザーとしてサポートする「メンター制度」を導入し、キャリアアップを支援する風土と環境を構築しています。



LGBT支援

当社グループは、LGBTの社員のもつ能力を最大限に発揮できる環境の整備や、商品・サービスを通じた取組みを行っています。



お客さまに対して

損保ジャパン日本興亜では自動車保険の契約のお引き受け時や保険金のお支払い時に同性パートナーであることが確認できる場合に、同性パートナーを配偶者として取り扱います。

損保ジャパン日本興亜ひまわり生命では、同性パートナーを受取人に指定されるご契約について従来確認を行っていた、被保険者と受取人の関係などの一部を省略し、よりスムーズな手続きを可能としています。

社員に対して

社員向けの研修会後にALLY (LGBT理解者)となった社員は、自らALLY宣言カードを積極的に掲示しています、ALLYの見える化を図ることで、当事者の安心感につなげるとともに職場のLGBTへの理解促進を図っています。

このような取組みにより損保ジャパン日本興亜は、任意団体Work with PrideからLGBTに関する取組みの評価指標で「シルバー」認定を取得しました。

We are LGBT Friendly



work with Pride



※LGBT:[L]レズビアン(女性同性愛者)、[G]ゲイ(男性同性愛者)、
[B]バイセクシュアル(両性愛者)、[T]トランスジェンダー(性同一性障害など)の頭文字をとった単語



障がい者の雇用促進に向けた新会社「SOMPOチャレンジド株式会社」の設立

当社グループは、「Diversity for Growth」をスローガンにダイバーシティの推進に取り組み、多様な人材が強みを発揮し活躍できるグループを目指しています。ダイバーシティの取組みの一環として、障がい者が強みを活かしながら働くことのできる環境を実現するために2018年4月に「SOMPOチャレンジド株式会社」を設立しました。新会社を設立することで、より多くの障がい者が働きがいと成長を実感できる場を創出していきます。

多様な人材の活躍に向けて

「チャレンジド」という言葉には、「挑戦すべき課題、資格や才能を与えられた人々」という意味が込められています。私たちは、誰もが持つそれぞれの困難を相互に受止め、認め、強みを引出す中で個人としても組織としても最大限の成長を目指しています。そしてその成長を原動力として、お客さまに選ばれ続けるために日々チャレンジしています。

SOMPOチャレンジド株式会社 代表取締役社長 谷 佳明

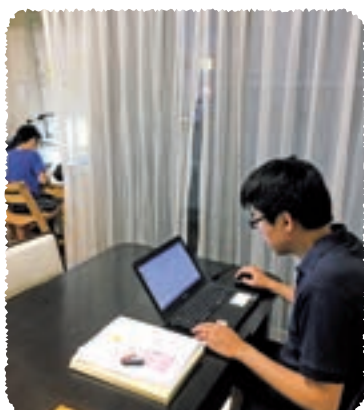
VOICE





社員の健康維持・増進の取組み

当社グループでは、グループの経営理念である「お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質のサービス」を実現するためには、「社員およびその家族の健康が大切である」という考え方のもと、グループ各社において健康維持・増進につながるさまざまな取組みを実施しています。



社員が自宅でテレワークをする様子



社内運動サークル活動(SOMPOビジネスサービス)

- テレワークやシフト勤務を活用したワークスタイルイノベーションの推進
- 社員の健康状態や課題を見える化した「健康レポート」を発行(損保ジャパン日本興亜)
- 社内運動サークル活動の活性化(SOMPOビジネスサービス)
- 年2回のストレスチェック実施(SOMPOシステムズ)
- 全社終日禁煙の実施(損保ジャパン日本興亜ひまわり生命)
- アプリを活用した生活習慣改善プログラムの実施(SOMPOリスクアマネジメント)

など

これらの取組みが評価され、当社グループ6社が、経済産業省および日本健康会議の運営する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2018大規模法人部門(ホワイト500)」に認定されました。



- ・SOMPOホールディングス株式会社
- ・損害保険ジャパン日本興亜株式会社
- ・SOMPOシステムズ株式会社
- ・SOMPOビジネスサービス株式会社
- ・損保ジャパン日本興亜ひまわり生命保険株式会社
- ・SOMPOリスクアマネジメント株式会社
(現SOMPOリスクマネジメント株式会社)



「SOMPO Global University」の開校



当社グループは世界有数のビジネススクールであるシンガポール国立大学ビジネススクールと提携した企業内大学「SOMPO Global University (以下、SOMPO GU)」を2012年に設立しました。SOMPO GUは、「経営知識の習得」と「多様な人材との協働の経験」を目的としており、座学の講習だけでなくALP (Action Learning Project) を通じて各国のCEOから与えられた課題に解決案を提案する実践を重視したプログラムとしています。2018年度までに、15か国から合計140名が参加し、国籍を問わず、基礎的な経営知識を習得すると同時に多様な人材との論議を通じて幅広い視野を培ったグローバル人材をグループベースで育成しています。

社会福祉に資する活動支援

損保ジャパン日本興亜福祉財団は、障がいの有無にかかわらず、すべての人が地域の中でともに支えながら暮らすことのできる社会づくりを目指しています。国内およびASEAN加盟国・インドで活躍する社会福祉分野のNPO/NGOへの助成を通じた支援を行っています。

福祉団体への助成
総額

18億6,280
万円
(2017年度末)



CSRの考え方

国内外の全てのグループ会社が企業としての社会的責任を果たすために、「グループCSRビジョン」を定め、それに紐づく方針として3つのポリシーを定めています。

グループCSRビジョン

SOMPOホールディングスグループは、未来に向けた対話を通じてステークホルダーと積極的にかかわりあいながら、高い倫理観のもと国際的な行動規範を尊重し、気候変動や生物多様性などの環境問題、人権やダイバーシティ、地域社会への配慮などを自らの事業プロセスに積極的に組み込むとともに、社会に対して透明性の高い情報を積極的かつ公正に開示していきます。また、常に一歩先を見据えて、社会の安心・安全・健康に資する商品・サービスの提供をすることで、ソリューションプロバイダーとしてレジリエントで持続可能な社会の実現に貢献していきます。



3つのポリシーの内容は、当社の公式ホームページで開示しています。
(<https://www.sompo-hd.com/csr/system/vision/>)

社外からの主な評価

Dow Jones Sustainability Indices(DJSI World)

企業の持続可能性を「経済」「環境」「社会」の3つの側面から評価し、先進的な取り組みをしている企業をDJSI構成銘柄として抽出した、世界の代表的なSRIインデックスです。当社の発足から9年連続、損保ジャパン日本興亜からの通算で19年連続の組入れとなり、日本企業として最長期間の連続選定となります。(2018年9月)



RobecoSAM社 企業の持続可能性調査

(RobecoSAM's Corporate Sustainability Assessment)

「銅賞(RobecoSAM Bronze Class)」DJSIの調査対象企業から選定したもので、2018年度は「銅賞(RobecoSAM Bronze Class)」を受賞しました。当社の発足から8年連続、損害保険ジャパン日本興亜からの通算では11年連続で受賞しています。(2018年2月)



CDP(気候変動)アンケート

当社は、世界の主要な機関投資家が企業に気候変動への戦略や温室効果ガスの排出量の公表を要請する国際的なプロジェクト「CDP」の気候変動に関するアンケートでAリストに選定され、国内外の金融機関で最高ランクを獲得しました。(2017年10月)



平成29年度の「なでしこ銘柄」に選定

当社は、若手層から管理職まで幅広い層を対象に女性のキャリアアップを支援する環境と風土を構築している点や、女性管理職数が増加している点が評価され、経済産業省および東京証券取引所が共同企画で実施する平成29年度「なでしこ銘柄」に選定されました。(2018年3月)



第21回環境コミュニケーション大賞

「環境報告書部門 優良賞」を受賞

ESGに関する詳細な情報開示「CSRコミュニケーションレポート2017」が、第21回環境コミュニケーション大賞(主催:環境省、一般財団法人地球・人間環境フォーラム)の環境報告書部門において、「優良賞」を受賞しました。(2018年2月)



※本誌掲載のQRコード、URL、サービスは、予告なく変更となる場合があります。
※本誌掲載の写真、図版などの無断転載・複製を禁じます。



SOMPOホールディングスは、SDGsの達成に向けて取り組んでいます

SOMPOホールディングス株式会社

〒160-8338 東京都新宿区西新宿1-26-1

TEL.03-3349-3000

URL <http://www.sompo-hd.com/>

